

# ちいきみらいフォーラム

「協同組織金融の理念を活かした金融機能の発揮」

西武信用金庫

理事長

高橋 一朗

# 西武信用金庫の経営状況・特質

R6.3月

①お客さま支援体制の充実 **500超の連携先** 25大学と産学連携 ～30年前に開始（リレバン10年前）～

②**全国254金庫** 預金 **14位** 融資 **7位** / **東京都23金庫** 預金 **5位** 融資 **2位** 当期利益 **全国4位** **東京1位**

③JCR外部格付 **A+（安定的）全国1位** 週刊ダイヤモンド全国信用金庫ランキング **4年連続全国第1位**

• 不良債権比率 **2.07%** ～低い信用コスト～ さらに**一般貸倒引当金 131億円** ★融資先2万社の黒字率 **67.4%**

④**預貸率 67.5%** **5位** **預証率5.9%** **2位** **有価証券含み損なし（含み益95億）**

• 直近5年間で20ポイント下落 ★本業のみでの収支 **+62億円**（貸出金利息ですべての経費支出を賄う⇒**全国2位**）

• 自己資本額 **1,885億円** **全国4位** **東京1位**

⑤広い営業エリア 東京都全域・神奈川・埼玉の一部 76店舗（インターネット支店含む）

• 都心ビジネス街～住宅地～工業団地～山間部 ★店舗の個性に応じた施策（女性のための店舗やインキュベーション）

⑥**渉外人員比率 都内金庫 1位** ⑦**ベンチャー投資 本体250億 VC100億** ⑧**NPO支援活動 25年**

# 「金融」ではない「協同」「協同組合」が信用金庫の原点 ～150年、200年前～

金融と協同組合が一つの屋根の下に同居している“奇跡的”な組織

## ①相互扶助の精神

自然発生的に集まった組合員（会員）同士の連携・協力・・・協同（= × 共同）

→現代の「ビジネスマッチング」「産学連携」・・・お客様支援活動

## ②二つの側面（矛盾した性格・役割の同居）（× 協同組織金融機関）（○ 協同組合 と 銀行）

→金融機関としての役割（昭和26年以降）・・・銀行業、金融業・・・経済的合理性が基本

→協同組合としての役割（原点の理念）・・・事業・本業支援・・・経済的合理性はない

## ③この信用金庫の所有者（オーナー）

→会員（組合員）が作った組織、自発的に発生した組織

総代（総代会）の選任・・・10万人の会員

役員や職員は事業者や住民を代表、代理する会員、総代から雇われている存在

（地域からの負託）

# ビジネスモデルの整理

どんなに費用や手間がかかっても、先に徹底したお客さま支援活動を実施

⇒ 「**協同組合**」としての役割・行動

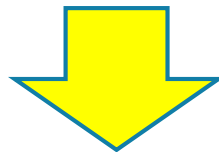


お客様の売上の拡大、収益の改善、黒字化、計画の実現



不良債権減少（信用コスト削減）、金利に頼らない貸出金増加、お客様の数の増加

⇒ 「**金融機関**」としての役割・行動



金融機関としての本来収益(貸出金利息)の維持・拡大



# 令和5年4月 新中期経営計画“ビジョン”

- ▶ “パーパス” “ビジョン” （協同組合の活動をするために“人”が絶対に必要）  
先行きが不透明な時代だからこそ、進むべき道を明確化
- ▶ 3年計画から5年計画へ （PDCA ⇒ PPPP・・・）  
“数字”では表現できない“言葉”を大切に（行き過ぎた成果主義の反省）
- ▶ 事業計画、業務計画も本部主導から営業店、現場主導へ （お客様が決める）  
ノルマ的な思考の排除 ⇒ “割り算”から“足し算”へ（自分で考える自分の目標）
- ▶ 協同組合としての理念の実現 ⇒ 3つの「相互扶助」やさしい関係  
①お客様どうし ②職員どうし ③経営と職員 （④協同組合どうし）

## パーパス

- ▶ **お客さまに、地域に、未来に「やさしい」金融機関**  
(× “日本一”やさしい金融機関)

経営は3000% 職員ファーストで

職員は 100% お客様ファーストで

- ・ 優しい「人」が数多く絶対的に必要なビジネスモデル
  - ・ 店舗を減らし、人員を削減しているのが、現在の金融の主流・・・
  - ・ 当金庫では、どんなにデジタル化が進んでも、進めば進むほど「人」
- ★成長より循環、拡大より深堀 （結果的に利益や成長につながるはず）
- ★今あるものを大切にする 取引のある中小企業 と 働いてくれる職員

\* 「人」をつくる「人」をつくる

# この2年間の西武信用金庫の対応

## \* 基本的方針 \*

金融緩和終焉、ゼロゼロ融資の出口、人口減少社会・高齢化社会の本格的な到来、人手不足、資源エネルギー・物価高騰、脱炭素対応、デジタル化の進展、大震災などの自然災害・・・

様々な課題・問題に知恵と資本を集中し、できる限りの予測して、勇気をもって積極的に立ち向かう。

**西武信用金庫自身の対応 と お客様が対応されることへの支援が使命。**

①お客様支援（中小企業・個人）関連施策

②人的資本政策

③中期経営ビジョン関連施策

「今後も、お客様、地域、未来に役立つ様々な新たな取り組みを計画」

事業支援活動 “ 2 . 0 ”

# 1. お客様支援関連 ①（中小企業支援）

- 再構築補助金獲得支援 100億円（専門家派遣費用約1億円当金庫負担）
- 西武しんきんキャピタルによるコロナ対応救済特別投資枠 5億円
- 地域みらい応援資金 3000万円（産学連携契約27大学、専門学校への寄付と産学連携共同事業）  
（35の商工会議所、商工会や産業支援組織への寄付と共同事業）
- 一般貸倒引当金 160億円（正常債権への引当により、積極的な支援を担保）
- リレーションシップバンキング担当 設置（現役支店長から抜擢。異次元の経営支援）
- SDGS私募債発行 開始（借入人による寄付先の選定）
- 環境経営促進融資 創設（東京都との連携認定）
- 健康経営促進融資 創設（東京都との連携認定）
- コロナ支援を契機とした地域産品の積極購入（本部、支店）（別途経費補助）
- ”SEIBU LADY LINK” 発会（女性後継者の会）（跡継ぎ娘支援プラットフォーム事業）
- ”100年企業の会” 発会（長寿企業連携プラットフォーム事業）（東都老舗の会との連携）
- ”TOKYO STARTUP NEXUS“ 発会（スタートアップ支援プラットフォーム事業）
- ”SEIBU NEW LEADERS CLUB 21“ 活性化（若手経営者、後継者育成プラットフォーム事業）
- ”東京発！物産逸品見本市”や”ビジネスフェア”など当金庫主催事業への他金庫の招聘
- 経営者保証に関する方針策定と徹底



## 1. お客様支援関連 ②（中小企業支援）

- トップラインサポートオフィス 開始（お客様の売上拡大支援事業）
- “贈り物手帳” 発行 No.1～No.4
- ”ビジネスプランコンテスト中野” 主催（中野区からの事業引継ぎ）
- ”知財活用スチューデントアワード“ 主催（大手企業の解放特許を文系学生により事業化）
- ”オープンイノベーションピッチ” 主催（本格的な製造業技術支援マッチング）
- 人材派遣免許取得（中小企業の人材不足対応、200人雇用成約）
- 人材支援センター設置
- 東京工科大学 コーオプ制度での連携（工業系有料インターンシップ）
- 原発処理水風評被害支援事業
- ”東京ビッグアドバンス”の活用
- ”南西フォーラム” メインスポンサー
- マイファームとの連携 農業支援 生産緑地の有効
- 電子契約の開始
- ”BHコラボ”（お客様とのすべての対話をデータ化）（将来はAIへ）
- LINKERSとの提携による”BMS”（ビジネスマッチングをデータベース化）
- 城南信用金庫、足立成和信用金庫 3金庫での地域を超えた工業技術系マッチング会
- お客様の出版物の購入 全店に据え置き

# 1. お客様支援関連 ③（中小企業支援）

- 日本経済新聞社 スタあと・ビッチ 参画
- Forbes誌 SMALL GIANTS 参画
- 環境文明21 環境力大賞 参画
- イノベーションズアイ 革新ビジネスアワード 参画
- コモンズ投信 SEED CAP 参画
- 矢野経済研究所 “キラリと光る原石発掘” 連携協定 Xプロジェクト参画
- 技術経営士の会 連携第2ステージ
- 船井総合研究所 しんきん経営者研究会 参画
- 金融財政事情研究会 経営塾 参画
- 中野区との産業支援分野での人事交流
- JC(青年会議所)との包括連携協定
- TKCとの地域交流連携事業 開始 モニタリング情報システムの推進 海外視察への参加
- POファイナンス（補助金受取）
- 融資取組方針検討の定例化
- 中小企業への人材派遣、出向

## 1. お客様支援関連 ④（中小企業支援）

- 外部出向事業（経済産業省、中小企業庁、中野区、羽村市、練馬区産業振興公社、渋谷未来デザイン、経営承継支援、東京都酒販組合連合会、TAMA協会、スターツ信託、オリックス・・・）
- 経済産業省 パートナーシップ構築宣言
- 経済産業省 省エネお助け隊窓口 登録
- 経済産業省 カーボンニュートラルアクションプラン 登録
- 経済産業省 女性起業家支援連絡会議 参加
- 環境省 金融行動原則 署名 起草委員会委員
- 中小企業庁 M&A支援認定機関 登録
- 中小企業庁 みらデジ支援機関 登録
- 国土交通省 PPP協定パートナー 登録
- 内閣府 先導的人材マッチング事業関節補助者 登録
- INPIT(工業所有権情報・研修館) 包括連携契約
- 持続性推進機構 エコアクション21 取得
- 日本政策金融公庫 資本制劣後ローン 提携
- 日刊工業新聞 日本ものづくり会議 参加
- 東京都 SusHiTech Tokyo（スタートアップ支援HUB）への参画

# 1. お客様支援関連 ⑤(個人マーケット)

- 内閣府 消費者志向宣言
- 金融ジェロントロジー協会 加盟
- 認知症サポーター 全店配置
- 預かり金融資産（投信・保険）の取扱を再開
- iDeCo取扱 全信用金庫 1 位（2023年下期）
- KPI 78%
- ライフプランシミュレーション 導入
- 年祝い預金（70歳77歳88歳90歳のお客様に有田焼プレゼント）（有田焼の窯元支援）
- 従業員サポートプラン（中小企業従業員への様々なサービス）
- 移住促進住宅ローン
- リバースモーゲージ 再構築
- 住宅ローン 新たな保証機関 追加
- 年金友の会 日帰り旅行の復活
- 西武お笑い寄席 復活
- 明治座観劇会 復活（明治座への寄付）
- 国内旅行 再開 石川県方面“加賀屋” 参加500人

# 1. お客様支援関連 ⑥(個人マーケット)

- 特殊詐欺未然防止特別表彰
- 店頭タブレット 開始(伝票レス化の推進)
- Hi-co通帳 導入
- 小中学校での金融教育
- 年100回以上の各種セミナー 開催
  - 「資産運用・承継」「相続・遺言」「中小企業従業員向け“お金のこと”」など
- 認知症予防セミナー 開催(多摩地区 3金庫とフコクしんらい生命との共同開催)
- CA (カスタマーアテンダント) 配置
- “ commons投信 ” 販売開始
- 暮らしの相談センター 設置(女性だけの店舗)
- 暮らしすめい 設置
  - (セールスなしの女性営業担当 ⇒ “相続人”との共感、関係強化 ⇒ 相続預金へ)
  - (地域FM局で”暮らしの相談センター“を”暮らしすめい“が自らCMでPR)

## 2. 人的資本政策関連 ①

- 退職人数大幅減(従来100人採用⇒100人退職。今期、上半期 定年退職を含め 21人に減少)
- コロナ手当30万円、物価高手当15万円、相互扶助手当10万円
- 会員加入1万円援助(職員全員が会員に。会員による会員のための協同組合の実現)
- 各種手当見直し(渉外手当30年振り改定、検証席手当増額)
- 賞与 年6か月支給(年間協定)
- 新入職員就職祝金
- ベースアップ 7% 令和5年度 年間ベースで前年比13.6%人件費増加
- 初任給 引き上げ(都内信用金庫トップ水準)
- 女性の制服廃止と男性も年間を通じ、ネクタイ自由
- パート、嘱託に賞与に代わる御礼(令和5年冬期は“処理水風評支援”として北海道産海産物1万円)
- パート時給を1300円の大大幅アップ
- シングルマザー手当、家族障害者手当の開始
- くるみん認定取得
- 産休明け時短制度の改善(従来の3歳から12歳へ延長)利用者大幅増加
- メディカル休暇の導入 介護休暇の改善
- 男性育休取得100%
- キャリア採用の抜本的見直し
- 出産祝い金の大幅増加 出産祝い高級タオルセットの贈呈

## 2. 人的資本政策関連 ②

- エンゲージメントアンケート調査、職員満足度意識調査
- **健康経営宣言**
- **全役職員を対象に所得補償保険(GLTD)と3大疾病保険に加入**
- 福利厚生充実（地域のスポーツジムなど補助）
- **アルムナイ採用**（退職時からの経過年数を考慮した処遇、“外部出向”扱い）
- **ダイバーシティ採用**（SDGS専門家、経済産業省、ベンチャーファンド、信金中金、NHK、REVIC、政府系金融機関、保険、警察、ホテルマン、職員のご家族～信用金庫では経験できない様々な経歴、貴重な知見を教えてください～
  - **インクルージョン人材配置**（元証券マン13名の皆さんによる若手職員の先生役）
- 地元出身者の採用（以前は7割が地方出身者、現在は7割、自宅通勤者）  
（総代やお客様、専門家契約先など様々な紹介）
- 高校生採用 復活
- システム系新入職員採用
- **高齢者雇用**（60歳再雇用制度の開始、ポスト定年廃止）65歳支店長、72歳関連会社社長  
58歳新任支店長の登用、週一回勤務の嘱託など柔軟な勤務体系
- **女性活躍**（女性部長3名、役員2名）（支店長・センター長3名）（本部各部でも若手活躍）

## 2. 人的資本政策関連 ③

- 外部研修の充実（従来は大半が職員が講師）
  - プロアクティブ研修、CISマイスター研修、新聞読み方研修、アンガーマネジメント研修、管理職向けダイバーシティ研修、SDGs研修など
- 育休復帰者向けキャリア両立研修
- あらゆる機会を通じた理事長によるパーパス研修、協同組合の原点の研修
- 30年前のFST研修の復活（地域を歩く意識高揚研修）
- eラーニング導入
- 独自の若手職員研修（東京チェーンソーズとの協同による林業体験）
- 新聞購読研修（日本経済新聞、東京新聞）1年間金庫で購読料負担
- 内定者への対応強化 研修、食事会、理事長・専務と対話
- 賞罰規定の抜本的改正
- 職員旅行の復活（奨励金支給）
- 事務協力店舗グループ制の開始
- 融資案件支援チームの設置
- 遠方顧客の管理専門部署の設置
- 融資業務BPR（融資事務、帳票などの抜本的改革）
- 内部各部署のトレーニーの実施
- 融資のインターネット受付 禁止



## 2. 人的資本政策関連 ④

- ・暮らしの相談センター設置(女性だけの店舗)・・・時短延長(3歳⇒12歳)利用者急増の受け皿
- ・暮らすメイド設置(様々な働き方に対応した職種開発 セールスなしの女性営業担当  
業務職から一般職へ) ⇒ “相続人”との共感、関係強化 ⇒ 相続預金へ
- ・ひらがな名札
- ・旧姓使用可
- ・店舗改装(職員の働く環境の優先整備) 中野本部の整備
- ・店舗新築(当金庫のビジネスモデル実現のためには店舗は必須 ⇒ あえて立派な店舗に)
  - ・地域に会議室貸出 (職員が出勤しなくても貸し出し可能なシステム対応)
  - ・パウダールーム完備 女性ロッカーには休憩スペース 本部改装(カフェテリア)
- ・本部機能の分散
- ・顔認証システムを試験的に導入
- ・全員にタブレットと携帯電話貸与 内線電話原則廃止
- ・全員にインターネットメールアドレス付与
- ・リモートワークの試験的实施
- ・すべてのPC作業が在宅、休日も可能
- ・部活動の奨励
- ・ペットボトル廃止に向けた浄水器サーバーの設置
- ・ダイバーシティ採用者とのインクルージョン対話

### 3. 中期経営ビジョン関連 ①

- 中期経営計画から**中期経営ビジョン**へ(3年から5年へ、数値は一切なし、言葉でのパーパス)
- 20年ぶりの役職員大会 開催 (中野サンプラザ大ホール貸し切り)
- **パーパスの共有(人に地域に、未来に“やさしい”金融機関)“やさしい”の4文字だけでも…**
- 業務計画策定の抜本的変更(“**割り算**”から“**足し算**”に)
  - 600人の渉外担当者、窓口担当者が自分の目標を考える⇒その合計を支店の目標にする  
⇒76支店の合計を金庫全体の目標にする(従来の本部が決めた目標の割り算を撤廃)
  - ノルマ的目標、意識の排除
    - 地域の特性やお客様ごとの真の課題解決が必要な時代になった
- 店舗業績評価に「**お客さま中小企業の“売上高”“利益”の改善度を反映**  
(当金庫の目指す指標 日本全体での中小企業の赤字率70% 当金庫では70%が黒字)
- **預貸率 70%の維持**
- **預証率 4~5%**へ低下誘導 有価証券は含み益46億円(週刊エコノミストによれば全国で含み益は 16金庫)
- 積極的なベンチャー、スタートアップ投資(西武しんきんキャピタルによるベンチャー企業への直接投資80億円)  
(金庫本体では約50の**ファンドへ長期投資 280億円のLP参加** 直近5年での収益70億円超)
- 他金庫からの出向者、研修、視察の受け入れを歓迎

### 3. 中期経営ビジョン関連 ②

- ・ **渉外人員比率36%(全国1位)** 当金庫の目指す経営方針や営業体制の基礎
- ・ 自営システム運営(ビブロジー更新20億円 クラウドなど将来への布石の投資完了)
- ・ マネーロンダリング対応の強化(システム投資、人員増強、意識改革)
- ・ **地域協創部創設** 従来の金融機関にはない発想で地域を豊かにするエンジン
  - (“SDGs甲子園” SDGSカレンダーコンテスト 全35自治体との高齢者見守り協定)
  - (SDGs関連事業 中野区や相模原市、入間市とのSDGS推進協定、産業振興協定などの締結)
  - (各自治体との創業支援連携 包括的地域支援連携協定締結)(企業版ふるさと納税)
  - (“グッドエイジャー賞”への参画)
  - (障害のある子どもたちの支援 フォトコンテスト実施 障害のある子どもたちの写真をポケットティッシュに)
  - (内閣府との古本回収事業 中野区の環境団体との古着回収事業)
  - (“えがおボックス” 八王子での食品回収)
  - (“クラダシ”との連携による金庫全体での食品回収事業 子供食堂支援)
  - (“しんきんクリスマス子供食堂支援” 参画)
  - (“フコクしんらい生命”との共同寄付事業)
  - (NPOなどへの新しい融資の仕組みSwish開始)
  - (“ソーシャルバンク・コミュニティ”発足に際しての「呼びかけ人」就任)
  - (地域のスポーツチームのパートナー支援 立川アスレチックス 新宿クレアソン 町田ゼルビアなど)
  - (地域文化支援・・・郷土芸能、市民オペラ、市民コンサート、多摩文化交流コンサートなど)

### 3. 中期経営ビジョン関連 ③

- 外部経験者の役員就任(弁護士、中小企業支援組織役員、大学教授経験者)
- 理事長室廃止 専務理事、3人の常務理事との共同執務室(常時の意見交換、情報共有)
- 理事長による地域との対話の実施(就任以来4年半継続中)  
(全総代250人、全首長35人、支店長の希望する重要顧客との対話)  
(ゴルフを完全に封印 全支店を年2回以上訪問)
- 支店長や支店職員との直接対話(全支店を年2回訪問の際に実施)
- すべての決済、メール、情報共有は車内で完結できるセキュリティ対策
- 地域密着ストーリー(現場での小さな取り組みを毎日継続してホームページにアップ)
- 感謝状の発行
- 西武会の新設 (新店舗)
- 地域経済産業研究センター 設置
- 西武信用金庫ラジオ支店 開設
- 店舗周年行事 見直し、予算増額(30年前の基準の見直し)
- OB会“西武むつみ会”との関係強化 支援資金を倍増 OB個人の近況を庫内報で紹介
- 渋谷信用金庫 創業100年事業
- コモンズ投信、鎌倉投信などのESG関連の長期投資
- 寄付月間 リードパートナー

### 3. 中期経営ビジョン関連 ④

- 当期利益 90億円(過去最高益更新)全国2位 令和5年度は79億円 東京を含む東日本1位
- JCR格付A+安定的(信用金庫ではトップ維持)
- 週刊ダイヤモンド誌 全国信用金庫ランキング5年連続第1位
- ALMシステム 高度化
- インターネット支店 業務縮小
- ユネスコ 加盟 ウクライナへ100万円寄付 金沢の震災へ350万円寄付 加賀屋旅館へ100万円
- 地域のロータリークラブ、ライオンズクラブへの新規加入促進
- 公聴会の実施 店舗新築時に地元の意見を反映
- プランインターナショナル 評議員に就任
- 渋谷東支店 店舗内店舗を解消 一般店舗へ
- 中野セントラルパークに新たなオフィス、イベントスペースを取得
- 渋谷営業部 再移転
- 五日市 夜市での花火大会 メインスポンサー
- ほぼすべての中野区主催イベントのスポンサー引き受け(さよならサンプラザ、中野アニメツアー、中野にぎわいフェスタ、中野東北復興フェス、中野ランニングフェスなど)
- 渋谷区 パラリンピック支援事業 スタートアップ支援事業 参画

## 4. 今後の取り組み計画 ①

- 人的資本開示（次期ディスクロージャー）⇒ 協同組合としての“人的資本”とは・・・今、改めて“人がすべて”
- 海外研修 営業担当者(コーディネート担当)や窓口担当者の表彰者を海外へ派遣
- 再雇用制度の見直し
- 支店経営アドバイザリーボードの設置 “幕賓役”
- 各支店の性格、マーケットなどを改めて分類 ⇒ 営業活動の適正化 人材育成プランの確立
- 電気自動車導入
- **木造店舗の新築(東京多摩産材を利用)**
- 関連会社の再整備 西武不動産サービスとビジネスサービスの合併(融資バックオフィスの稼働、電子化)  
人材センター 設立 (人手不足の真の理由の把握・対応)  
地域商社 設立 (後述)
- 障害者雇用 特例子会社 設立
- 障害者差別解消法の徹底した対応(ミライロやLORANSとの提携)
- 組織変更・・・公益公協部 復活 (指定金融機関引き受けの検討)・・・後述  
事務企画部 新設  
審査1部2部 統合 審査部に融資企画担当副部長 配置  
総務部に法務担当 配置 事業支援部に事業支援部担当副部長 配置



## 4. 今後の取り組み計画 ②

- 地域協創プラットフォーム 活用  
(社会福祉法人、介護施設、障害者支援施設、子供食堂など・・・相互連携・DX支援)
- **自治体連携の強化**(行政の産業支援の在り方を議論中)、連携協定促進 **指定金融機関制度対応**
- ソーシャルバンク コミュニティ発足(京都信用金庫榊田理事長発起人を引き受け)  
(ドイツ ソーシャルバンク コミュニティ視察研修参加)
- 事業支援2.0 (本当の課題、真の問題の発見)
- 中小企業マーケティング支援 若手チーム、女子チーム事業 開始
- 環境不動産支援事業
- 中小企業の障害者差別解消法への対応支援(ミライロやLORANSとの提携)
- 関東バスとの地域活性化に向けた業務提携 **ラッピングバス2台**
- 女子会議の設置
- 女性職員キャリアアップ研修 開始
- Re・Bank との連携による企業開拓研修 開始
- 出資証券電子化、配当金通知書の軽量化
- お客様相談室 設置 (リスク管理統括部でのマネロン対応の強化)
- 「公共善エコノミー」への参加

## 4. 今後の取り組み計画 ③

- 地域新聞2社との連携による企画広告(女性後継者のリレーインタビューなど)
- 海外旅行の再開・・・無理であれば「盛岡方面」へ
- **地域商社の設置 地域物産品に加え、製造業の技術移転(TLO)、新分野開拓、特許管理**
- フェムテック休暇の導入
- リゾート会員権の取得による職員の福利厚生拡充
- 地域の温浴施設と提携した職員の福利厚生拡充
- 留学生奨学金の再開(亜細亜大学)
- 店頭タブレットの高度化
- 個人業績評価に「お客さま中小企業の“売上高”“利益”の改善度を反映
- 長期設備投資計画の修正 本部本店の新築
- **改正 金融行政方針への対応(税理士や中小企業診断士の皆さんとの協業・役割分担)**
- 入間市 入間ガス 地域エネルギーマネージメント事業 参画 出資
- ペットボトル廃止に向けた浄水器サーバーの支店への増設
- 外部出向者、経験者 連絡会議の設置
- 入間市 ベンチャー支援事業への参画
- **DX推進タスクフォース 開始**
- **AIによる「倒産予知システム」開発導入**



## 4. 今後の取り組み計画 ④

- 協同の原点「西武信用金庫」紹介本の発行 「つなぐ、つながる、つながる」
- 農地での太陽光発電支援事業
- 地域みらい応援資金と地域みらい助成金(定期預金)の再構成
- “経済界”との連携によるベンチャー企業発掘事業
- “神戸学園”との連携によるベンチャー企業発掘事業(渋谷区の特区を活用)
- 健康経営の中小企業への啓蒙活動
- 中小企業活性化協議会への出向
- 福生市などへの出向、人事交流
- としまビジネスサポートへの出向
- 中小企業基盤整備機構への出向
- 金庫内中小企業診断士の活用チームの結成
- インスタグラム発信
- Chat-GPT活用などのDX戦略の遂行
- M&Aの促進 M&A業務に関する連携企業の拡充
- 収益の適正な還元 収益は職員へ優先的に還元 利益の1%を地域還元 1%~2%を事業支援費用に

この2024年を“普通の年”にしない・・・。

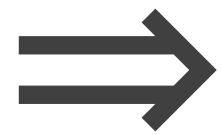
この“変化”に果敢に、機敏に、柔軟に、

勇気をもって対応することは

先に行ける絶好の“チャンス”

変化を ⇒ チャンスに

CHANGE



CHANCE